

## 一年間ありがとうございました

3月2日にお知らせの予定だった学校だよりをこのように形で発行することを残念に思っています。考えれば考えるほど心配なことは尽きませんが、次に学校がスタートするときには安心して生活が送れる日常に戻っていることを願っています。別紙のお便りのように、新たな情報はメールやホームページで随時お知らせをいたします。本日学校から発信したメールが届いていない場合、学校までご連絡をお願いします。至らぬ点が多々あるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 心温まる送る会

6年生を送る会がありました。厳しい局面でしたが、子どもたちが用意し6年生も楽しみにしていた会です。なんとか開催をしたいと考え時間を短縮し、マスクを着用した上で、全校児童が集まらないように学年ごとに入れ替わりながら会を進行しました。それぞれの学年が考えた出し物、プレゼント、上手に運営してくれた5年生、感謝の言葉や歌を送ってくれた6年生、温かみのある素晴らしい会になりました。



## 教育・子育ての原点

最後に、先日目にしたある教育関係者の文章を紹介します。

■「もう、50数年も前の中学時代の恩師との出会いを思い起こす。中学3年の秋、優しかった母を病で亡くした。高校受験を前に言葉に尽くせぬ失意。勉強もほとんど進まぬまま、公立高校のみ受験し、亡き母のために何としても合格したいと心から祈った。

しかし、受験校発表の朝、合格者の中に自分の番号をみつけることはできなかった。総てを失ったと思った。すぐにでも学校に報告をしなければと思いつつ、山手線を何周回ったことか。いっそ母のもとに行こうかとも思った。その勇気もないまま、冬の陽は暮れようとしていた。

今から学校に報告に行く。なぜもっと早く報告に来ないのかと厳しく叱られることは覚悟していた。いや、先生方は皆、帰ってしまって誰も居ないかもしれないと思った。しかし、大きな校舎の中で職員室だけ灯りがともっていた。職員室に入ると担任の久保寺先生がひとり残っていた。これは大変申し訳ないことをしたとの思いと、『不合格でした』との報告に母の姿が重なり涙が止まらなくなってしまった。

先生は、遅くなったことについて一切叱らず『そうか、長い人生には色々なことがある。そのひとつひとつを乗り越えてこそ人は豊かになっていく。人の生きる道はひとつではない。これからのことを一緒に考えよう』と、温かい眼差しで語りかけてくれた。そのときかもしれない、自分が教師を目指そうとしたのは、この担任の先生との出会いがなければ今の自分は無いと思っている。

教職は子どもひとり一人の人生を決定づけるまでの崇高な営みである。本当にひとり一人の子どもを大切にす真の愛情と情熱、そして子ども達ひとり一人が自分が愛されているということを知れば必ず勇気がわく。それが教育の原点のような気がする。」 ■

最終段落の「教職」や「教育」は「子育て」に置き換えることができるのではないのでしょうか…。長い人生、順調なことばかりではありません。私たちもどんなときでも子どもたちを励まし続けることのできる親であり教師でありたいと思っています。

## 3月の行事予定

1日	日	
2日	月	臨時休校
3日	火	臨時休校
4日	水	臨時休校
5日	木	臨時休校
6日	金	臨時休校
7日	土	
8日	日	
9日	月	臨時休校
10日	火	臨時休校
11日	水	臨時休校
12日	木	臨時休校
13日	金	臨時休校
14日	土	
15日	日	
16日	月	臨時休校
17日	火	臨時休校
18日	水	臨時休校
19日	木	臨時休校
20日	金	春分の日
21日	土	
22日	日	
23日	月	臨時休校
24日	火	臨時休校
25日	水	臨時休校
26日	木	学年末休業日
27日	金	
28日	土	
29日	日	
30日	月	
31日	火	

荷物の受け渡し、通知表、卒業式のことなど随時げんぽメールやホームページでお知らせいたします。